

新型コロナウイルスワクチン接種を考慮する妊婦さんならびに妊娠を希望する方へ

日本産科婦人科学会・日本産婦人科医会・日本産婦人科感染症学会 による提言

- ① アメリカ疾病対策センター（CDC）は妊婦さんへのワクチン接種を強く推奨する声明を出しています。
わが国においても、**妊婦さんは時期を問わず**ワクチン接種することをお勧めします。
- ② 妊婦が感染する場合の約8割は夫やパートナーからの感染です。
そこで、**妊婦の夫またはパートナーの方は**、ワクチン接種することをお願いします。
- ③ 妊娠を希望される女性は、可能であれば **妊娠する前に**ワクチン接種することをお勧めします。
(生ワクチンではないので、接種後の避妊は必要ありません。)

- 1 妊娠中、特に妊娠後期に新型コロナウイルスに感染すると、重症化しやすいとされています。
- ⋮
- 3 副反応に関し、妊婦さんと一般の人に差はありませんが、発熱した場合には早めに解熱剤を服用するようにしてください。
アセトアミノフェンは内服していただいて問題ありませんので頭痛がある場合も内服して下さい。
(妊娠中期以降の方は鎮痛剤、解熱剤については主治医に相談して下さい。)
- 4 副反応の有無にかかわらず、妊娠の異常（流産、早産、その他）の頻度はワクチンを打たなかった妊婦と同じであると報告されています。
⋮
- 6 予定された2回のワクチンを接種しても、これまでと同様に感染予防策（適切なマスク着用、手洗い、人込みを避けるなど）は続けてください。

上記、学会より提言が出されました。詳しくは以下のサイトなどをご確認ください。

・妊婦の方々などに向けた新型コロナウイルス感染症対策
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10653.html



・新型コロナワクチン Q&A
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0027.html>



ワクチンの有効性・副作用について

大分大学医学部医療安全管理医学講座

平松 和史 教授のご講演より

- ・ 日本国民全員がワクチンを接種した場合
重篤な副作用は（呼吸困難・アナフィラキシーショックなど）

200人/ 1 億人

- ・ もし日本国民の半分しかワクチンを接種しなければ…
（COVID-19感染による死亡率2%のため）

2,000,000人/ 1 億人が死亡!!



早く元の生活にもどり安心して治療を受けられるよう
ワクチン接種をご検討ください。